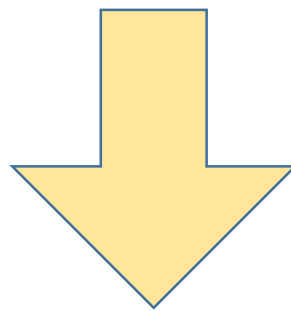


「地域包括ケアシステム」 について

鈴鹿亀山地区広域連合介護保険課
管理グループ

第7期介護保険事業計画基本理念

いつまでも自分らしく暮らせる長寿社会の創造



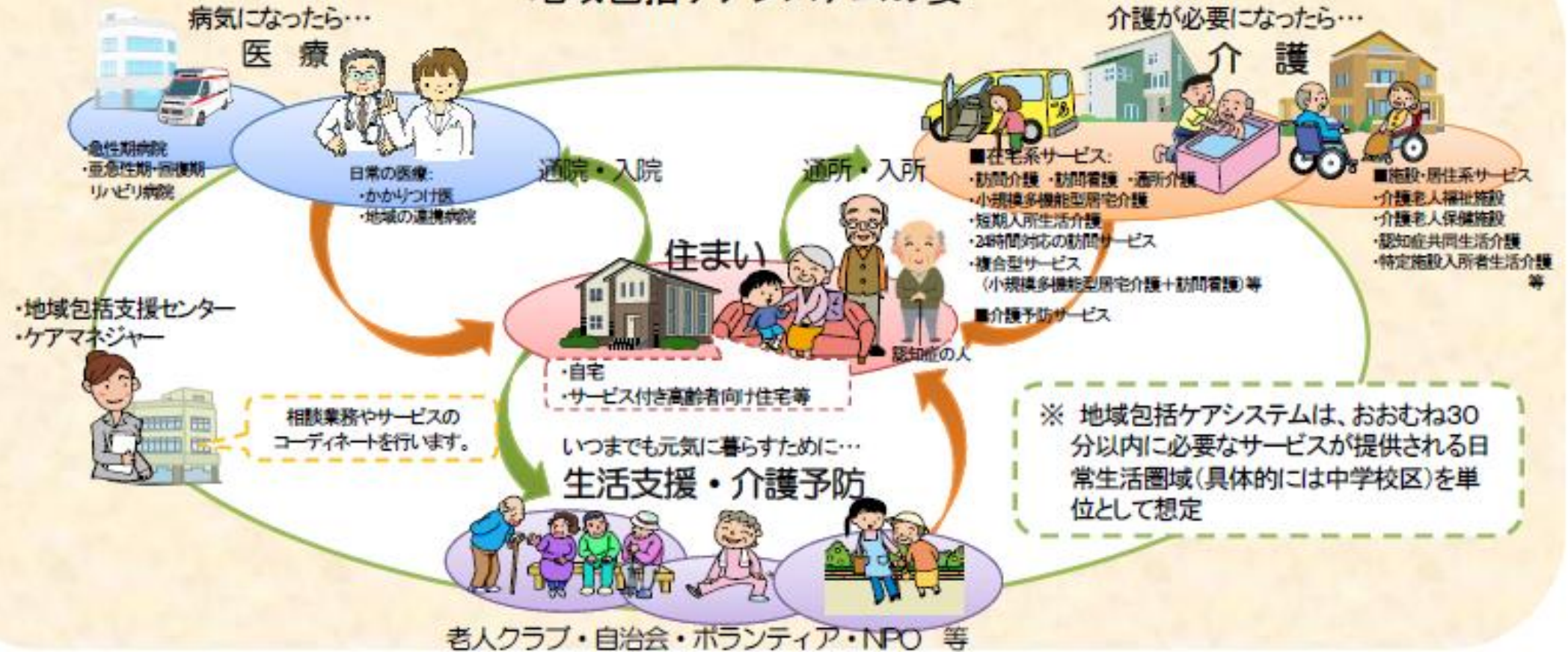
第8期介護保険事業計画基本理念

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らせる
長寿社会の創造

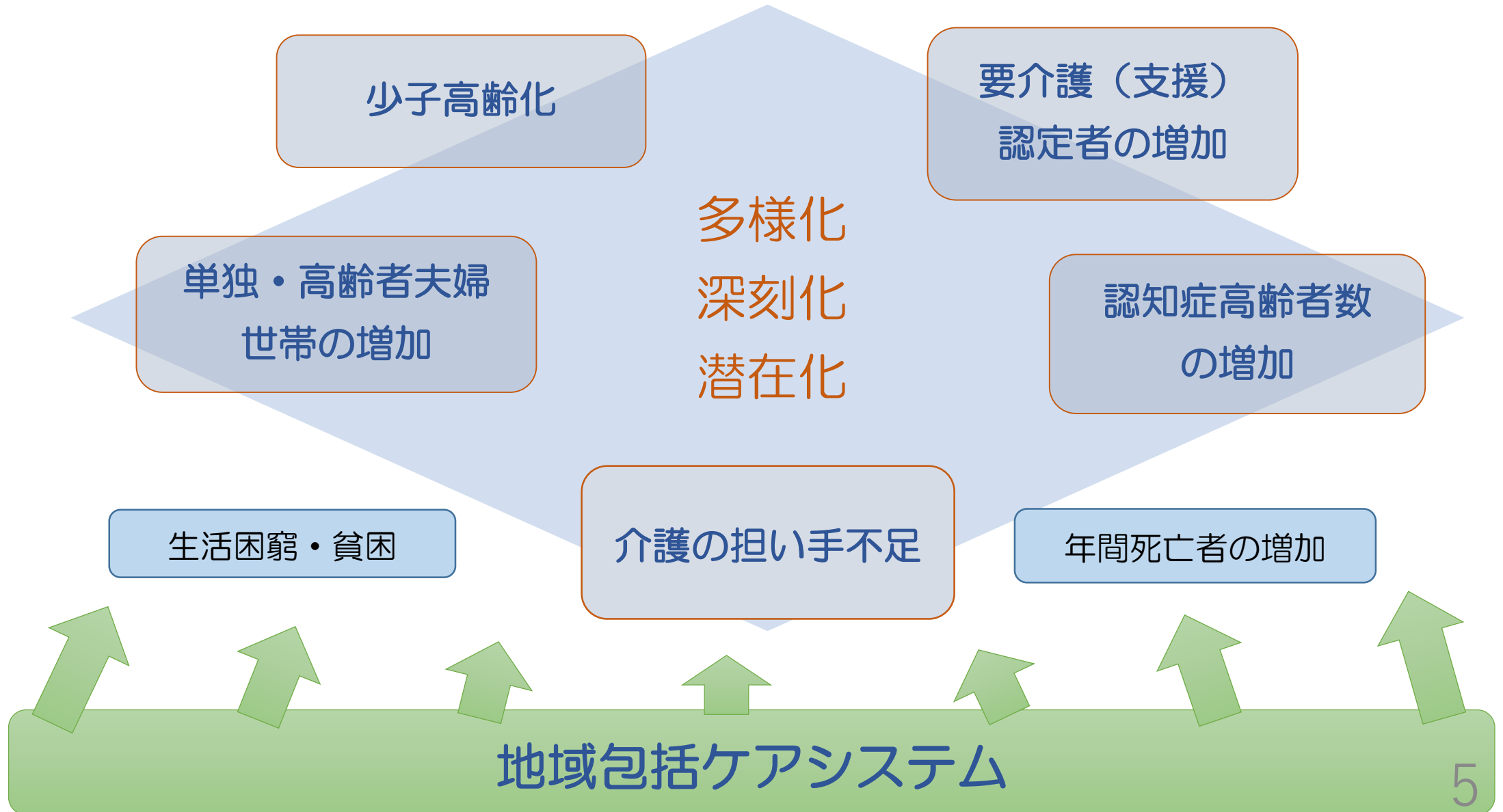
地域包括ケアとは・・・

地域住民が、住み慣れた地域で、安心して尊厳のある
その人らしい生活を継続することができるように
介護制度によるサービスのみならず
その他のフォーマルやインフォーマルな多様な社会資源を
本人が活用できるように
包括的継続的に支援すること。

地域包括ケアシステムの姿

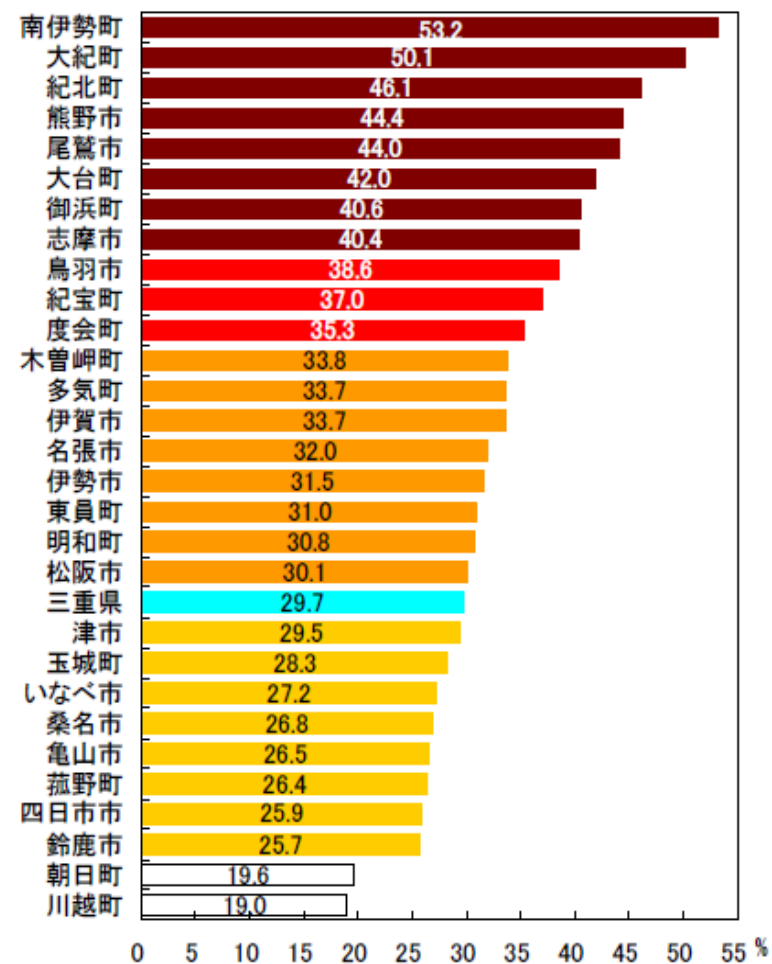
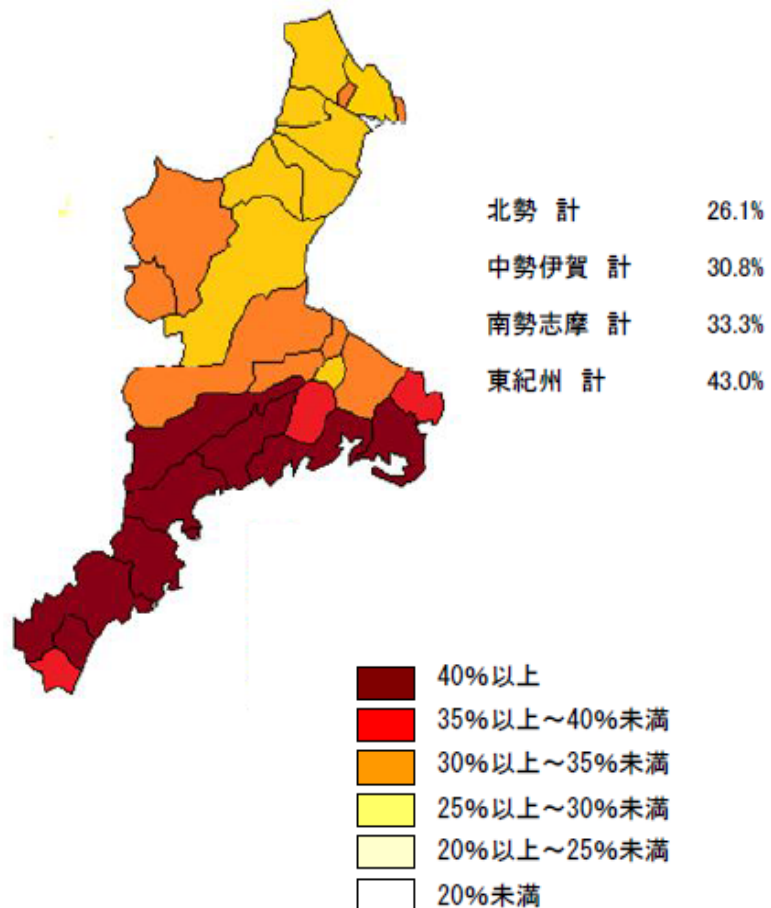


地域包括ケアシステムが必要となる背景



・三重県の市町別高齢化率

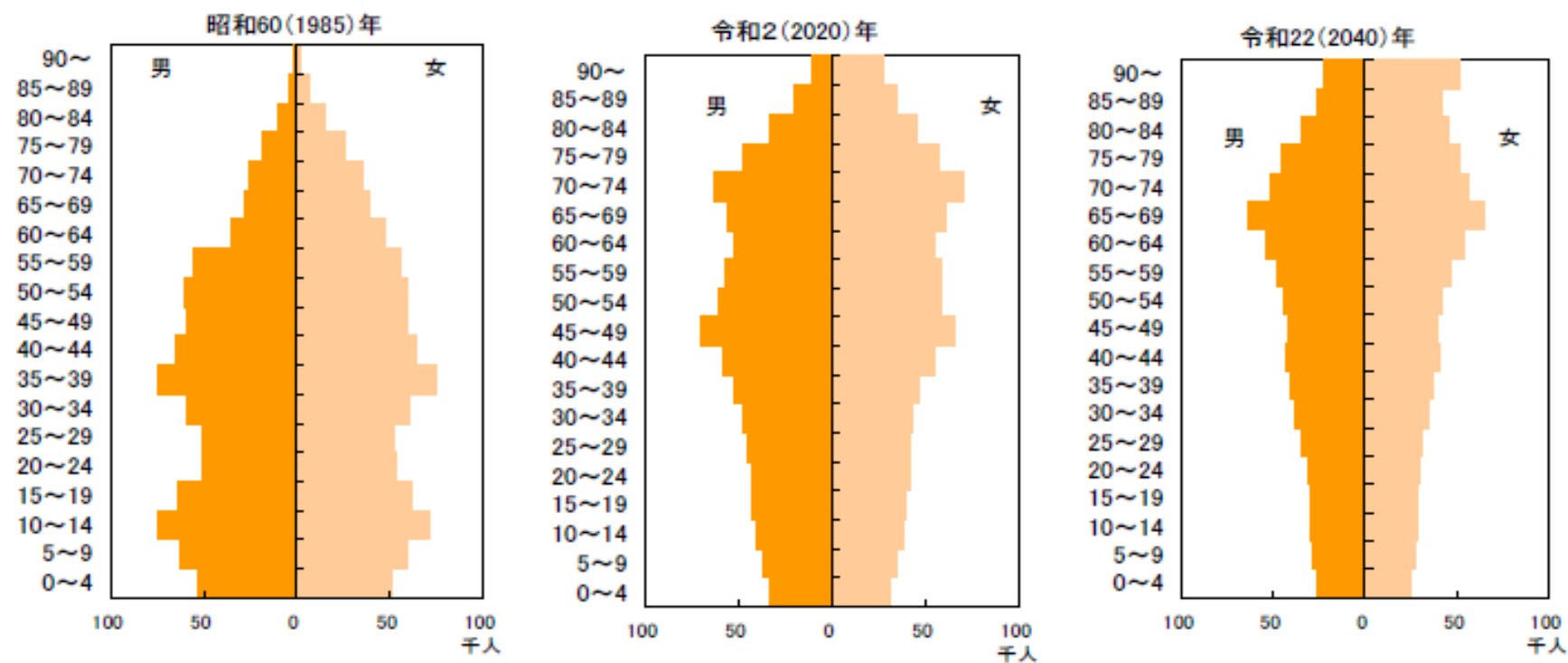
(令和元(2019)年10月1日現在)



資料；三重県戦略企画部統計課「年齢別人口」

※高齢化率=65歳以上人口÷(総人口-年齢不詳)×100

・三重県の人口ピラミッドの推移と将来推計



資料：昭和60年は総務省統計局「国勢調査」、令和2年及び令和22年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

<進化する地域包括ケアシステムの「植木鉢」>



- 自分のことを自分でする
- 自らの健康管理(セルフケア)
- 市場サービスの購入

自助

- 当事者団体による取組
- 高齢者によるボランティア・生きがい就労

互助

- ボランティア活動
- 住民組織の活動

■ ボランティア・住民組織の活動への公的支援

共助

- 介護保険に代表される社会保険制度及びサービス

公助

- 一般財源による高齢者福祉事業等
- 生活保護
- 人権擁護・虐待対策

ケアシステムの構築プロセス

第1段階 地域の現状を把握

- ・現状と将来像の把握
- ・相談支援のケースからの把握 等



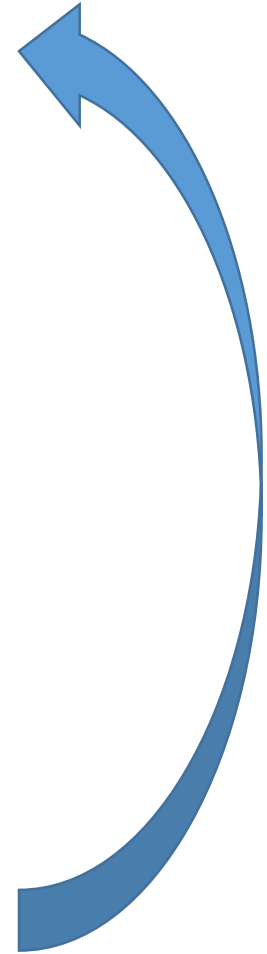
第2段階 考え方の共有

- ・本人、家族、市民
- ・介護支援専門員及びその他の専門職
- ・行政、地域包括支援センター 等



第3段階 実際の取組み

- ・医療・介護の連携
- ・介護予防・日常生活支援
- ・地域包括ケアに必要な取り組み 等



地域包括支援センター新体制

